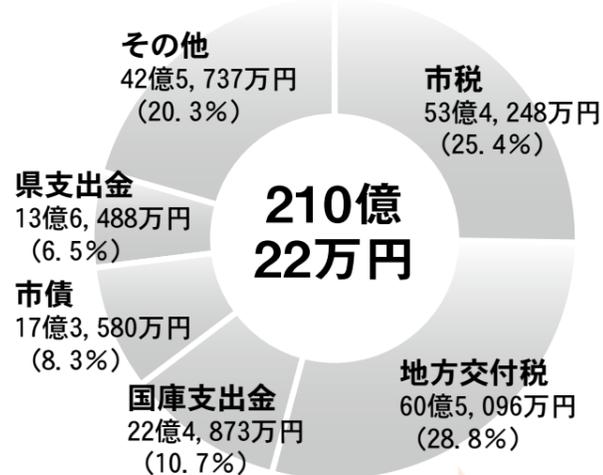


平成30年度一般会計の歳入・歳出決算の状況

歳入から歳出を差し引いた額は 14億7,085万円になりました。

歳入

歳入は、前年度と比べ7億4,735万円増加。



歳入増加の主な要因

市債（借入金）は、2億180万円減少しましたが、市税は個人住民税の増加などにより、前年度と比べ9,391万円増加、また、地方交付税も1,925万円増加しました。

歳入は、
市民1人当たり
533,000円
うち市税の負担
は、135,595円

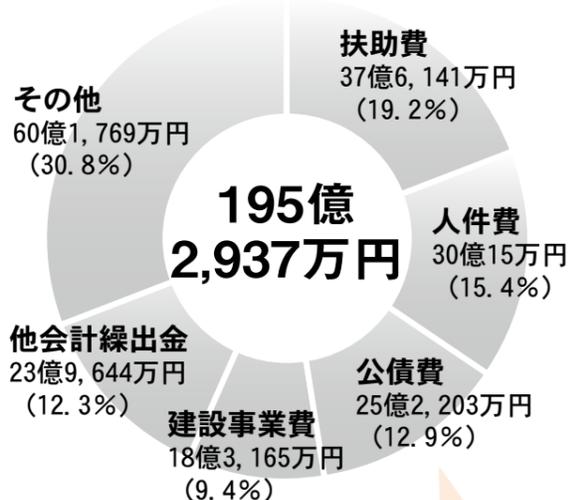


歳出は、
市民1人当たり
495,669円

市民1人当たりの金額は、平成31年3月末の住民基本台帳人口39,400人で計算しています。

歳出

歳出は、前年度と比べ2,207万円増加。



歳出増加の主な要因

扶助費と人件費と公債費を足した義務的経費は前年度と比べ6,820万円減少しましたが、7月豪雨災害関連経費として8億8,060万円を支出しました。

特集 平成30年度決算から見る府中市

問い合わせ先 財政課 (☎43-7119)

7月豪雨災害に関する決算額

平成30年度7月豪雨災害にかかる復旧復興、生活再建支援などに要した費用…8億8,060万円

本山町 竹田池

7月豪雨災害関連経費の総額 27億7,820万円

平成30年度決算	8億8,060万円	このうち、国や県の補助金や災害支援寄附金などを除いた実質的な市の負担額は现阶段で8億3,230万円になります。
+		
令和元年度繰越予算	11億4,300万円	
+		
令和元年度当初予算	7億5,460万円	

災害復旧事業費…7億4,318万円

- ▷公共土木施設災害復旧事業費…3億3,348万円
- ▷農林施設等災害復旧事業費…1億7,000万円
- ▷学校施設災害復旧事業費…8,629万円など

応急救助・生活再建支援費…1億3,742万円

- ▷災害弔慰金…500万円
- ▷住宅応急修理費…520万円
- ▷被災者支援地域支え合いセンター事業費…227万円
- ▷災害見舞金…336万円
- ▷災害活動支援金…158万円
- ▷敷地内土砂がれき等撤去業務費…1,212万円
- ▷宅盤等崩壊地復旧事業補助金…1,025万円
- ▷災害廃棄物処理業務…1,223万円
- ▷倒壊家屋がれき収集運搬業務費…1,695万円
- ▷被災農業者向け経営体育成支援事業補助金…1,209万円
- ▷農地等災害復旧支援事業補助金…1,927万円など

皆さまからご寄附いただいた災害支援金

平成30年度、災害支援金および災害支援分ふるさと納税寄附金として、市内外の個人・企業・各種団体の皆さまから、26,492,505円のご寄附を

いただきました。多くの皆さまのご厚情に対し、深く感謝申し上げます。
いただいたご寄附は、市の復旧・復興支援のために活用させていただきました。

平成30年度の主な事業の紹介

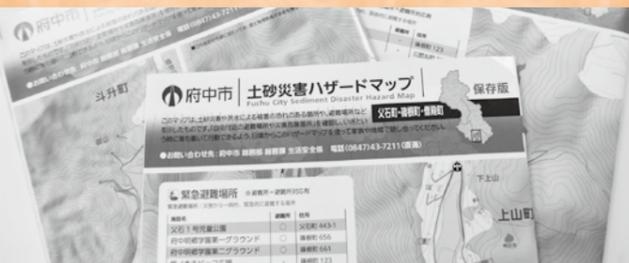
市立学校の空調整備事業 1,293万円

令和元年2学期からの使用開始を目指し、市内小・中・義務教育学校の教室などへのエアコン設置に向けて設計などを行いました。

目崎出口線道路改良事業 7,739万円

市街地西側外郭の幹線街路として計画し、用地補償契約や水路工事などを行いました。

消防・防災対策事業 2億6,715万円



防災行政無線屋外拡声局の増設、府中明郷学園学区区域の土砂災害ハザードマップの作成、老朽化した消防小型ポンプ積載車の更新をしました。

福塩線新市・高木間中州大踏切拡幅他工事（橋ノ外線） 9,357万円



踏切内を拡幅し、歩道を設置することで歩行者が安全に通行できる空間を整備しました。

備後国府確認・整備・活用事業 4,000万円



ツジ地区・伝吉田寺地区など備後国府跡および関連遺跡確認調査を実施し、史跡備後国府跡の保存と活用の基本方針を策定しました。